



# 狩公だより

令和4年1月1日  
狩川地区集落支援員  
坂本慶治



## 新年あけましておめでとうございます

風来風流の会 会長 石川 俊一

昨年までの2年間は世界的感染症（コロナ禍）拡大により、狩川公民館の多くの事業も中止を余儀なくされてきました。これからの時代は、コロナとの付き合い方を工夫しながら、町民の交流を考えていく時代になると

思います。このような時こそ町民の力が試されます。アイデア、行動力、変化に挑む力が必要な時代であり、「町で何かをしてくれるのではなく、町民が自ら何かを創造していく」そんな狩川地区の私達でありたいと思います。

4月には、庄内町の各学区公民館の名称が変わり、狩川公民館は、**庄内町狩川まちづくりセンター**となります。よく、「今までの公民館と何がちがうのや？」と聞かれますが、運営が変わるだけで、大きな変更はありません。多くの住民がより使いやすく、便利にする為の変更です。どうぞご安心ください。

令和3年10月24日に **地域運営組織「風来風流の会」**が設立されました。狩川地域のすべての自治会、部公連、幼稚園・小中学校とその保護者、安協、消防団、その他の団体、また、スポーツ組織、社会教育組織・団体、町議会議員等、多くの人々に関わっていただきます。多くの町民が、各種イベントなどを通して交流しやすい環境づくりを目指します。

風来風流の会は、運営委員会・事務局のもと、**健全育成、環境安全、町民交流、文化教養**の4つの部会（将来的に**産業振興**部会を検討）で事業を行います。各集落から2～3名が部員として、どれかの部会に所属しています。各集落におきましても、ぜひ話題を提供していただき、住みやすい町づくり、話題のある地域づくりなどにご協力をお願い致します。

さあ、4月からは新しい地域運営組織「風来風流の会」の本格的なスタートです。すべてが、手探りです。不安です。しかし楽しくやって行きたい。多くの人がいるように、多くの夢、多くの希望があります。一つひとつ、みんなで形にしていましょ。それが町の活性化に繋がるものと信じています。

これからの活動のために、多くの皆さんのお力が必要です。個人、家族、集落、地区、町と、みんなでわがまま(意見)を言える**庄内町狩川まちづくりセンター**にしていましょ。

## 始動する「風来風流の会」 《 各部会開催 》

○ 11/11(木)午後7時～ 町民交流部会

部員 15名 他3名 計18名参加

〈 会議の内容など 〉

(1) 町民レクリエーション大会

① 町レク大会は実施する。

② 全集落の参加を目指し種目等の内容を検討する。(検討会の開催)

③ 学校行事でもあるので、他地区と調整を図り、検討する。

(2) かりかわ風来風流まつり、グラウンド・ゴルフ大会、ソフトバレーボール大会も、実施することを前提にして、今後、検討する。



鶴巻文臣部会長



○ 11/19(金)午後7時～ 健全育成部会 部員 8 名 他3名 計11 名参加



〈 会議の内容など 〉

- (1) 学校地域連携事業（5月の花いっぱいさわやかあいさつ運動、立川小の校内相撲大会）は、これまで同様、協力参加する。
- (2) わんぱく学園は、活動内容により、**本間純子部会長**協力参加する。
- (3) 青少年育成事業の啓発標語募集はこれまでと同様に実施し、巡回指導は従来のやり方を廃止し、部員による日常的な声掛け活動や見守り活動を実施する。また、夏休み前の自転車乗り指導なども検討する。
- (4) 放課後子ども教室「青空広場」を部会として支援する。
- (5) 中学生や高校生に、各事業への協力参加（ボランティア）を呼び掛ける。



本間純子部会長

○ 11/25(木)午後7時～ 文化教養部会 部員 11 名 他 4 名 計15 名参加

〈 会議の内容など 〉



阿良直美部会長

- (1) 狩川地区展事業を継承し、作品の販売もできるよう検討する。その際の手数料等は、他地区から情報を集め、検討する必要がある。
- (2) 松寿大学は講座ごとに学生を募り参加しやすくする。また、町営バス

を活用し、魅力ある内容等を検討したい。

- (3) 図書館分館の貸出事業は、からふる祭りとの連携などイベント開催も検討する。

- (4) 過去に開催してきた講演会や映画上映会等は、有料の映画上映、バザーの実施、草木染の研修、〇〇教室のような育成事業など、いろいろな事業展開が考えられる。

※ 会議等が増えないよう、担当する事業を分担していくことも検討する。

※ 事業自体を知らない方も多いため、広報活動の充実や事業の募集の方法も検討する。



○ 11/26(金)午後7時～ 環境安全部会 部員 7 名 他 4 名 計11 名参加

〈 会議の内容など 〉



- (1) 防災に関する事業は、コロナ禍における防災研修を実施する。（狩川の地域に合わせた内容を工夫する。）
- (2) 狩川まちづくりセンター周辺の環境美化事業を年2回程度、適切な時期に**田澤 聡 部会長**各自自治会や団体等と連携し実施する。前庭の飾りつけやゴミ拾い、町道周辺の除草等検討。
- (3) 地域活性化事業として、改修後の立川総合支所の活用や狩川地域の魅力の掘り起こし（地域ビジョン）などに関する勉強会などを検討する。



田澤 聡 部会長

※ 上記の他〇名は、石川会長、石川館長、秋庭係長、坂本集落支援員の参加数。

◎ お詫びと訂正

「狩公だより8月15日号」の「きらりよしじまネットワーク」の記事の中で、「最近の5年間で260人の人口増加」を「最近の5年間で260人の減少でしたが、関係人口では、2,000人の増加」と訂正し、お詫び申し上げます。

おしらせ

狩川まちづくりセンターの職員を募集します。「広報しょうない」元旦号をご覧ください。